

## 8-4-15 土質・地質専門委員会

### 1. 専門委員会の委員及び活動体制

令和2年度に引き続き、16名のメンバーで活動を行った。

年間計画に基づく通常の活動は、3班のワーキンググループ（地盤評価WG、調査結果品質確保WG、照査特別WG対応）で企画・実施準備を担当し、実務・実行にあたっては専門委員会全体で対応する方針で運営した。

その他、技術委員会から指示・要請を受けた課題に対しては、その都度全委員にて対応した。また、地盤品質判定士協議会、土木研究所など外部組織からの要請課題についても対応した。

### 2. 主な活動の記録

- (1) 毎月の定例専門委員会等の開催  
(令和4年2月及び3月は除く)

委員全員が参加する専門委員会は、今年度は新型コロナウイルス感染症対応として、基本、WEB会議方式（4月～1月）と、12月のみ対面で開催した。

#### (2) 活動の概要

令和3年度活動の概要は下表1. 2. に示すとおりである。

### 3. 次年度の活動について

基本的に、今年度の活動を踏襲・継続する。「地盤技術講演会」と「調査計画の立て方（令和4年度版、道路・河川事業編）」の発行、「RCCM 自主学习教材」テキストの修正、設計技術者向け調査結果チェックリストの更新等を中心とした活動を行う。開催方式は、web会議方式とする。

(土質・地質専門委員会委員長 門田 浩一)

#### 1. 活動概要(1) 年間計画活動

主な活動	概要
地盤評価WG	「第27回設計技術者のための地盤技術講演会」及びテキスト修正 ・オンライン開催：令和3年12月2日（木）参加者 571人（212社） 今年度は新型コロナウイルス感染症対応によりオンライン配信による開催とした。 内容は昨年度に引き続き、午前を基礎編、午後を応用編の5時間構成の終日開催とした。アンケートでは、講演内容等に好評の意見を多数頂くとともに、講演内容のさらなる充実（災害対応等の追加）や講演方法（チャットによる質問受付等）についての要望もあり、来年度開催へ反映し内容の充実を図る。
調査結果品質確保WG	・土質・地質調査に係るチェックリストの更新検討 品質セミナーにて紹介している設計技術者向け土質・地質調査チェックリストの改善・更新に向け活動を継続し、21チェック項目を追加した。 ・「調査計画の立て方（令和4年度版、河川事業編）」の改訂版作成 令和二年度の道路事業編に引き続き、河川事業編の全面改訂を行った。
照査特別WG担当	エラー事例収集とセミナーテキスト修正、セミナー講演会対応を行った。また、東京都「技術情報活用研修」に講師を1名派遣した。

#### 2. 活動概要(2) 対外的な活動

活動内容	概要
地盤品質判定士協議会	地盤品質判定士の試験分科会・検定委員会・監理委員会に委員4名を派遣
土木研究所	自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル(改訂案)への意見徴収